

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大町／メンドシーノ国際芸術交流2017 10周年記念展
事業主体 (連絡先)	大町創造企画室 (代表) 小田時男 . 09018683727
事業区分	教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,146,649 円 (うち支援金 1,596,000 円)

事業内容

- ・国際交流展および10周年特別記念展の開催
- ・10周年記念誌の発行
- ・メンドシーノ作家受け入れ事業

展示方法:

交流展においては絵画、写真、彫刻、テキスタイル、陶芸、ガラス工芸、木工芸などの様々なジャンルによる双方の作品展示を行った。また10周年記念展として、この交流展に至る経緯などの展示をしたり、大町の昔の美術工芸品と現代作家作品とのコラボ展示したりしながら、各会場によって展示コンセプトが異なるようにし、すべての会場を巡りたくるように演出をした。

編集方法:

参画作家からの作品写真、作家ポートレート、作家歴、コメントなどの作家情報と交流をサポートいただいた関係各位からのメッセージと写真、また過去の展覧会の様子や双方の町の様子、交流に至る経緯などを記載した。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1、中心市街地の活性化

10年目に当たる今回の事業では来場者も増えて、展覧会の知名度も上がっていると感じた。とくに、麻倉、ちょうじや、わちがいとといった歴史的建物での展示巡りは効果があった。また、他にも利用可能な古い建物の発掘には貢献している。

2、芸術文化振興

事業の回を重ねる度に新たな参加作家を得て、大町地域だけでなく作家交流の輪も広がっている。とくに安曇野、松本地区では、この事業の関心は深く、作家のみならず来場者も多く、芸術振興に役立っていると感じている。

3、国際交流

メンドシーノのと大町では国際交流展を通して、確実にお互いの地域の理解を深めている。作家間の交流、理解をもとより、一般市民の間にも興味が広がってきている。町づくりの観点からも互いに参考になる点が多く、外国人旅行者が増えて来ている中、今後の町づくりにも期待できる。

今後の取り組み

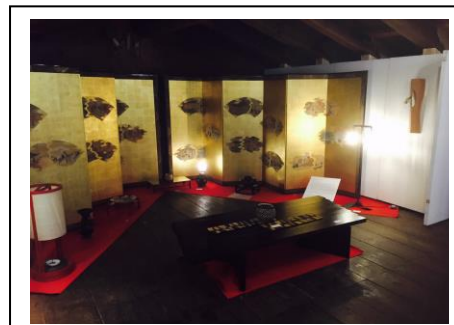
※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

この国際交流展では、さらに作家間の交流を図るとともに、一般市民の交流を進めていきたいと思う。人的交流が、結果的には町どうしの交流につながり、町づくりの要素となる。また、メンドシーノの町を参考にしながら、芸術振興の推進と国際的な町のイメージを定着していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【展示の様子】

【目標・ねらい】

- ① 中心市街地の活性化
- ② 芸術文化振興
- ③ 国際交流

※自己評価【A】

【理由】
北アルプス国際芸術祭との連携もあり、来場者が多く、作家の理解も得ることができている。また、この10年間の活動国際的な交流展覧会として定着してきていて、リピーターも増えてきている。このことは、この事業のねらいが実践されている。